

2022年度第5回役員会議事概要

- 1 日 時 2022年7月12日(火) 9:05~9:31
- 2 出席者 寺嶋学長、山本理事、角田理事、若原理事
- 3 列席者 佐藤監事、牧監事、阿部副理事・事務局長
陪席者 柴田事務局次長(学務担当)、山内監査室長
- 4 場 所 オンライン会議
<https://meet.google.com/fdc-vmyu-svd>

5 議 題

[審議事項]

- (1) 共同研究先への感謝状贈呈に関する検討状況について
- (2) その他

[報告事項]

- (1) 「2021年度IR一斉調査(財務・研究・事務)について」
- (2) 令和3事業年度財務諸表の承認について
- (3) 積立金の処分に係る承認について
- (4) 令和4年度会計監査人の選任について
- (5) その他

6 議 事

議題に先立ち、2022年度第3回議事要録(案)及び2022年度第4回議事要録(案)について、原案のとおり確認された。

[審議事項]

- (1) 共同研究先への感謝状贈呈に関する検討状況について

学長から、資料「審議1」に基づき、本学の共同研究の状況や背景、本感謝状は本学が企業等に対して感謝の意を表すものとして贈呈するものであることの説明があった。続いて、研究推進・社会連携課長から、「国立大学法人豊橋技術科学大学における共同研究に係る感謝状贈呈基準」、本基準に合致した企業リストの説明があり、審議の結果、原案の大筋について承認された。

今後、役員会の意見を踏まえ、学長一任で一部見直しをすることとなった。

なお、今後の贈呈方法や手順については、学長と研究推進・社会連携課が打合せを行い進めていくことが確認された。

主な意見は次のとおり。

- ・本基準の第3に「者」となっているが、感謝状は個人に贈呈するものなのか。
(回答)個人ではなく、企業に贈呈するものである。本基準の文言を見直しさせていただく。
- ・制度を整えたということは前進したと考える。

[報告事項]

- (1) 「2021年度IR一斉調査(財務・研究・事務)について」

若原理事から、資料「報告1」に基づき、報告があった。

主な意見は次のとおり。

- ・博士後期課程学生のうち、日本人が減少している気がしているが、留学生と日本人を区別して分析することは可能か。

(回答) データは所有しているもので、調査することは可能である。

・分析結果を、戦略企画会議、各種委員会等で共有し、情報を活かすことが大事である。

(2) 令和3事業年度財務諸表の承認について

資料「報告2」の配布により、令和4年6月22日付けで文部科学大臣から令和3事業年度財務諸表の承認を得た旨、報告された。

(3) 積立金の処分に係る承認について

資料「報告3」の配布により、第3期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る承認申請について、令和4年6月24日付けで文部科学大臣から承認を得た旨、報告された。

(4) 令和4年度会計監査人の選任について

資料「報告4」の配布により、令和4年度会計監査人の選任について令和4年5月23日付けで文部科学大臣から通知があった旨、報告された。

以 上